

留 学 報 告 書

記入日:2019年9月3日

所属学部／研究科・学科／専攻	経営学部 経営学科
留学先国	中国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: 南京大学 現地言語: 南京大学
留学期間	2018年9月～2019年6月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	海外教育学院 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年7月3日
明治大学卒業予定年	2020年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:9月～12月 2 学期:3月～6月 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約30000人
創立年	1921年

留学費用項目	現地通貨 (元)	円	備考
授業料		円	
宿舍費	24000	360000円	
食費	12000	96000円	
図書費		円	
学用品費	300	4500円	
教養娯楽費	500	7500円	
被服費	6000	90000円	
医療費	300	4500円	
保険費	5000	7500円	形態:明大保険、現地大学保険
渡航旅費	6000	90000円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	56800	852000円	

渡航関連

渡航経路: 飛行機

渡航費用

チケットの種類

往路 45000

復路 45000

合計 90000

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

スカイスキナー、シートリップ

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3)住居を探した方法:

大学が手配

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

広さもあり清潔感があった。寮にしては非常に快適であった。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した: 大学内医務室

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

はい。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮では Wi-Fi が安定していない時があるので、インターネット共有をしていた。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地銀行に親から送金してもらった。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

薬、日本のお菓子は種類が少ないので少し持って行っても良いかもしれない。その他は通販サイトを充実しているので問題ない。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
18単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
総合汉语	総合中国語
科目設置学部・研究科	海外教育
履修期間	9月～12月
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が4回
担当教授	
授業内容	テキストに沿って中国語の講義。
試験・課題など	毎週小テストがあり、課題も多く出される。テストは中間、期末の二回。
感想を自由記入	先生の指導方法が非常に的確で、効率よく中国語を学ぶことができた。一番おすすめする授業。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
金融风险管理		ファイナンシャルリスクマネジメント	
科目設置学部・研究科	商学部		
履修期間	9月～12月		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に150分が1回		
担当教授			
授業内容	パワポに沿ってリスクマネジメントを学ぶ。		
試験・課題など	期末レポート		
感想を自由記入	非常にレベルの高い内容なので予習は必須。またすべて英語で開講されているので、英語力も必須。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
汉语听力		中国語リスニング	
科目設置学部・研究科	海外教育		
履修期間	9月～12月		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に100分が1回		
担当教授			
授業内容	テキストに沿って音声を聞きながら問題を解く。		
試験・課題など	期末テスト		
感想を自由記入			

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
汉语口语		中国語スピーキング	
科目設置学部・研究科	海外教育		
履修期間	9月～12月		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に100分が4回		
担当教授			
授業内容	基本はテキストに沿って講義。グループワークなどもする。		
試験・課題など	中間は発表、期末はテスト		
感想を自由記入			

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
英語口語交际		英語コミュニケーション	
科目設置学部・研究科			
履修期間	同上		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に100分が2回		
担当教授			
授業内容	毎回様々なテーマがあり, それについて議論する。		
試験・課題など	プレゼンとスピーチ		
感想を自由記入	英語を用いて, 自分の意見を述べる練習にもなるし, 様々な議論を経てグローバルな視点を持てるようになる		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
文化产品市场营销		文化商品マーケティング	
科目設置学部・研究科			
履修期間	3月～6月		
単位数	同上		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	同上(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に100分が100回		
担当教授			
授業内容	パワポ沿ってマーケティングの基礎から学ぶ		
試験・課題など	プレゼンとテスト		
感想を自由記入	マーケティングの知識がある程度あれば中国語開講だが理解しやすい。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
HSK 六級阅读		HSK リーディング	
科目設置学部・研究科			
履修期間	同上		
単位数	同上		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	同上(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 100 分が1回		
担当教授			
授業内容	テキストの沿って授業内で問題を解いてその解説を聞く		
試験・課題など	テスト		
感想を自由記入	先生がわかりやすかった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
商务汉语		ビジネス中国語	
科目設置学部・研究科			
履修期間	同上		
単位数	同上		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	同上(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に100分が1回		
担当教授			
授業内容	中国ビジネスにおいて必要な知識をプリント等を用いて学ぶ		
試験・課題など	テスト		
感想を自由記入	中国のビジネス用語も知れたり基本的な知識が得られる		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
社会转型中的中日家庭社会学研究		日中家族社会学	
科目設置学部・研究科			
履修期間	同上		
単位数	同上		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	同上(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に100分が1回		
担当教授			
授業内容	パワポの沿って日中の家族観を社会学的視点から学ぶ		
試験・課題など	プレゼン		
感想を自由記入	非常にアカデミックに日中の家族観を学べる		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
中国经济		中国経済	
科目設置学部・研究科			
履修期間	同上		
単位数	同上		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	同上(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に100分が1回		
担当教授			
授業内容	パワポの沿って中国経済を基礎から学ぶ		
試験・課題など	レポート		
感想を自由記入	中国経済の基礎から現代までの変遷も知ることができる		

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	語学試験の勉強と受験
10月～12月	出願
2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	入学
10月～12月	中間・期末テスト
2019年 1月～3月	冬休み
4月～7月	中間
8月～9月	期末
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	視野を広げたい、世界各国の人と外国語を用いて仲良くなりたい、外国語を使うのが当たり前の環境に身を置きたい。主にこの三点が理由です。今までの自分の中の常識ではない常識に触れて、自身の思考のスタンダードの可能性や限界を広げたいと思いました。それには旅行や短期の留学ではただその事象の存在は知ることではあるかもしれないが、より一層深くその裏にある意図を理解し、実際にそれらを体得することは難しいと実際に旅行や短期留学を通して感じました。よって、短期滞在ではなく実際に「生活」をするべきだと思ったので長期留学という形を選びました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	英語と現地語を勉強しておくべきです。非英語圏でも一般的にガイダンスから公用語は英語になります。情報弱者にならないためにも、英語は必要ですし、現地語が拙い留学生と交流する際にも基本的には英語なのでやはりある程度話せると便利です。 軽く日本でテキストで自習すれば得られる基本知識を留学の貴重な時間に現地で割くのはナンセンスです。留学中はそこでしかできない体験にフォーカスするために、できることは日本でやっておくほう良いかと思います。 浴衣は軽いので持っていき、何かと交流会等の機会で日本文化を紹介できるのでおすすめです。
この留学先を選んだ理由	留学国を中国に選んだ理由はアジアが好き、世界規模で中国語話者が多い、世界における中国の存在が一層強まっている。主にこの三点です。 留学先大学を南京大学に選んだ理由は中国でトップクラスの大学である、世界各地から留学生がたくさん集まっている、土地柄的に日本人が少ないこと。主にこの三点です。
大学・学生の雰囲気	キャンパス内は非常に穏やかで過ごしやすいです。こちらの大学の学生は学力が高く、真面目で勤勉な人が多く感じました。図書館はいつでも勉強する学生で溢れていますし、勉強するにはとても理想的な環境だと思います。
寮の雰囲気	非常に国際色豊かです。比較的部屋も広く、清潔なので過ごしやすいと思います。
交友関係	まず、待っていたら何も始まらないと思います。日本人は一般的に比較的におとなしく、控えめな人が多いですが、人見知りなどを言い訳にしていたら一生外国人の友達にはできないと思います。無理する必要は無いですが、自ら積極的になることが一番大事だと私は思います。そして何より自分自身が楽しむことです。自分の意思表示はしっかりし、同時に相手の意思を尊重できる人は早いと思います。私は無理しない程度に機会を設けたり自ら日常的にコミュニケーションをとるように心がけました。様々な国の友達ができただことは一生の財産だと思います。
困ったこと、大変だったこと	現地に着いたばかりの頃は、中国語が拙かったので基本的な新生活を始める際に必要な手続きが大変でした。
学習内容・勉強について	主に中国語と経営学部なのでそれに関するビジネスの授業等を受けていました。中国語は初めは大変でしたが、三か月くらいでスムーズにほぼ問題なく受けれるようになりました。授業は英語または中国語で開講されますが、中国人が受ける中国語の授業も理解できるまでには成長できました。

課題・試験について	試験前はもちろん大変ですが、基本的に日々の授業で疑問を残していなければ問題ないかと思います。またプレゼンやスピーチを求められることが多いので、人前で話せるように経験を積んでおくとうまいかと思います。
大学外の活動について	日中交流会を開いたり、様々な大学に訪れて講演会を開催し、スピーチさせていただいたりしました。 日中友好推進のために何か活動したいと考えていたので日中交流センターの中国人達と意見交換しました。彼らと意向が一致したので共に活動することに決めました。 私に人の考え方を覚えることは出来ませんが、人の考え方を覚える「きっかけ」を与えることは出来ると信じて活動しました。アンケート調査結果により、実際に日本により興味を持つ中国人を増やすことができたこと分かったので行動して良かったと思っています。
留学を志す人へ	先入観や偏見を持たないこと、いい意味で「適当」でいること、日本や今までの自分の常識に執着しすぎず柔軟でいること、目標を決めて達成すること、何事も楽しむこと。この五点が出来ればだいたい問題ないと思います。また日本特有の「空気を読む」「察する」という習慣は日本人には当たり前ですが、日本以上に重視している国はほぼないと感じました。日本人にとってある意味での「思いやり」ですが、外国での「思いやり」の形がそれぞれあるということは念頭に置かなければなりません。「言わなくてもわかるだろう」精神でいると思わぬミスやストレスの元になるのでしっかり主張や交渉することが重要です。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	授業	授業	授業	授業		
	授業	授業	授業	授業	授業		
午後		授業					
		授業		授業	自習	交流会	外出
夕刻	自習		自習				
夜							